



おる 皆電報に接し直ち

に心を配りて其の要領を成りたる

為に今も其の電報に接し

今日の時局を収拾するに

先伯を頼すに或い道徳

のやまも其の旨に伯の既

政界を去り精神界に在り

偉大の成功を見たる今

逆戻りして政治上の人と

しは人物としてありては

標を考へて其の惜むる事

あり 美し泊ると政界

に失敗せしむる國家の

損失ともあるを 周囲

の人にかゝる文歸心と違

ふする處の先伯を援けり

子失敗せしむる國家の

損失ともあるを—— 周國

の人こゝか各々其歸心と違

ふする處の先伯と接合し

争つてはらふ家と此氣の士每

子有し御あり山嶽の

老毛喙連申の権士爲

子こ馬に乗出すし一 脚か

時城のありさるし標を

子一 餘り伯を大軍に

子一 國家と思はるし御

子一 かりがと一 反爲し可あり

子一 りの其 備の 形見を 露

子一 昔こ云ふ一 今しりちう三意

見可

老母昔の事様程よく

あはれ乱ちよき命なり

よき事あり

之由一 也

十山子見